

□ 要請番号 (JL31822A18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エクアドル	G210 地質学		個別	新規	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

イバラ市役所

2) 配属機関名 (日本語)

イバラ市役所市民安全部危機管理課

3) 任地 (インバブラ県イバラ市) JICA事務所の所在地 (キト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

イバラ市はエクアドル北部インバブラ県の県都であり、インバブラ火山の麓に位置する都市である。エクアドル国内の主要観光地のひとつとして知られている一方、雨季の降雨による土砂災害被害の多い地域としても有名である。配属先の災害対策課は、市内の災害低減、災害発生時の対応力と防災能力強化を目指して2017年に設置され、現在3名の職員が災害リスクアセスメント、ハザードマップ作成、避難計画や災害リスク軽減計画作成などに取り組んでおり、市内歴史地区を含む市街地の洪水対策が大きな課題となっている。年間予算は136千米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

イバラ市は、地形、地質などの条件に加え、雨季には激しい降雨に見舞われることも多く、土砂災害や洪水などの自然災害の影響を受けやすい。特に、山間部(上流域)で崩落した土砂が大量の雨水とともに市街地へ流れ込み、これまでに多数の被害をもたらしており、災害地質学に基づく原因の究明と対策が急がれている。災害対策課では、地理情報システム(GIS)を活用し、過去の災害データや地質・地形データ等を統合して危険地域を特定し、災害対策へ活かしたいと考えているが、災害地質学を専門とする技術者がおらず、分析能力の強化を必要としている。GISを活用した防災情報システムを構築し、安全で住みやすい街づくりを実現するため、本要請へと至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚とともに、以下の活動を実施する。

- 配属先の技術者とともに災害多発地域を訪問し、地質災害の発生に関する地質的要因を調査・分析する。
- 災害地質学の観点から市街地への土砂災害の脅威を分析し、有効な対策について助言する。
- 市街地の被害緩和のため、山間部(上流域)の治水計画と対策(ハードおよびソフト)について助言する。
- 地域住民に対する防災啓発活動へ協力する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務スペース、机、固定電話、インターネット、調査機器(赤外線カメラ搭載のドローン)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

責任者(40代男性、経験12年)

技術者(20代男性、経験2年)、その他1名

活動対象者:

市役所職員、市民

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)又はスペイン語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：業務上必須

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 10年以上 備考：業務上必須

[参考情報]：

- ・ 関連分野の修士号があれば尚良い
- ・ 学部学科は職種に関連した分野

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (地中海性気候) 気温： (13～21℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】

配属先ウェブサイト <https://www.ibarra.gob.ec/site/>